

拠出金名：国際農業研究機関拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				27,526千円	
国際機関等名	国際稲研究所 (英文名称・略称) International Rice Research Institute (IRRI)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省農林水産技術会議事務局国際研究課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	27,526	237		1米ドル = 116円	100
平成18年度	27,526	248		1米ドル = 111円	100
平成17年度	36,362	340		1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途等		国際共同研究に資する経費等			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2006年度決算)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注1) (%)	当該年度の収入 52,040千米ドル	
1位	日本	237	100	当該年度の支出 33,551千米ドル	
2位				次年度への繰越 17,037千米ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				PricewaterhouseCoopers	
5位				Philippines	
				(Isla Lipana & Co.)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
IRRIとは従来から(独)国際農林水産業研究センターの専門家が滞在して共同研究を実施しており、稲の病害虫の実体解明等の成果が生まれている。IRRIは世界の稲研究の中心的な役割を果たしており、稲に関する研究蓄積を有する我が国と連携を密にすることにより、開発途上国の持続的農業の発展に貢献すると考えている。さらに、IRRIは世界の稲の遺伝子を保存しており、我が国の稲の品種改良においても重要な役割を果たしている。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
現地スタッフの大幅削減や研究テーマの絞り込み、日本事務所の閉鎖に見られるような事務拠点の整理等、活動の合理化、機能強化のための取り組みが積極的に行われている。					
邦人職員数 うち幹部以上	7人 うち 0人(注3)		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	1,066人(注2) 0.7%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
理事 (注3)		岩元睦夫		(社)農林水産先端技術産業振興センター 理事長)	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
当該機関においては、これまで多くの邦人理事の送り込みを行っている。現在も15名の理事のうち1名の邦人理事が選出されている。また、当該機関へは、これまで多くの邦人研究者が送り込まれており、現在も邦人研究者が多く滞在し共同研究を進めている。したがって、IRRIの主要ポストに対し、邦人の雇用に加え、様々な形態で邦人職員を派遣する等今後も積極的に邦人を送り込むための活動を行うこととしている。					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) 2006年12月現在

(注3) 理事は職員としてカウントされていない。

(参考) この他、本研究所を含む国際農業研究協議グループ(CGIAR)に対し、外務省予算から拠出している。